

別添様式 1

生産コストの削減及び飼料自給率の向上を図るための取組計画

申請日 令和 年 月 日

第 1 取組者の概要

取組者名（法人の場合は法人名を記載）	
代表者の役職・氏名（上記と同様の場合は省略）	
取組者が所在する住所	〒

第 2 要件の確認

本事業の申請に当たっては、以下のア及びイを要件としていますので、各要件に同意される場合には、右欄の□にレを記入してください。

ア 配合飼料価格安定制度における交付対象数量等の情報について、配合飼料価格安定基金（又は配合飼料価格安定基金が認める団体）が、本事業の執行のために必要な範囲で利用することに同意する。

上記アについて同意する ☐

イ 本事業で申請する生産コストの削減及び飼料自給率の向上のための取組は、少なくとも令和 5 年度までに取り組む。既に着手している取組をもって申請する場合には、少なくとも令和 5 年度まで継続する。

上記イについて同意する ☐

第3 生産コストの削減及び飼料自給率の向上のため取組 確認表

- ・本事業により着手する取組について、以下の（Ⅰ．畜種共通）、（Ⅱ．畜種別）の取組項目から1つ、（Ⅲ．配合飼料の使用量の低減）から1つ、計2つ選択すること。
- ・令和5年度までに取り組む場合及び既存の取組を令和5年度まで継続する場合は□にレを記入すること。なお、その他の取組を選択する場合、□にレを記入した上で、具体的な内容を括弧内に記入すること。

（Ⅰ．畜種共通）

① 疾病・事故率などの低減

- ☐ 牛床マットやカウブラシ、分娩監視装置等飼養管理機器・資材の使用
- ☐ 事故率低減のための牛の削蹄の実施
- ☐ 事故率低減のため、獣医師の指導等による定期的な分娩監視
- ☐ 疾病の低減のため、ワクチンの接種
- ☐ 分娩監視装置等のICT機器の導入
- ☐ その他（ ）

② 暑熱・寒冷対策による生産性の改善

- ☐ 暑熱対策のために、牛床内における噴霧器、換気ファン等の使用
- ☐ 寒冷対策のために、牛衣（カーフジャケット）等を着用
- ☐ 暑熱・寒冷対策のために、外壁・屋根材に耐熱性（保温性）素材を使用
- ☐ その他（ ）

③ 国産飼料（エコフィード含む）の給与割合の増加

- ☐ 国産牧草（乾草・サイレージ）の給与割合を増やす
- ☐ 国産とうもろこし（青刈り・子実・イアコーン）の給与割合を増やす
- ☐ エコフィード（豆腐粕・醤油粕等）の割合を増やす
- ☐ その他（ ）

④ 副産物収入（堆肥販売、和牛受精卵の活用等）の増加による生産コストの削減

- ☐ 堆肥販売の増加による収入の増加により、生産費割合を圧縮する
- ☐ 和牛精液・和牛受精卵の活用による収入の増加により、生産費割合を圧縮する
- ☐ その他（ ）

(Ⅱ. 畜種別)

酪農

⑤ ☐ 牛群検定を活用した生産性の向上

⑥ 分娩間隔の短縮

- ☐ 発情発見機を活用した発情の見逃し防止
☐ 早期離乳の実施
☐ その他 ()

⑦ 国産濃厚・粗飼料の生産・流通拡大（コントラクター活用等によるものを含む）

- ☐ 国産粗飼料の作付面積を拡げる
☐ 国産濃厚飼料の作付面積を拡げる
☐ 国産飼料の販売・流通量を増やす
☐ TMRの利用量を増やす
☐ その他 ()

肉用牛

⑧ 肥育期間や子牛の出荷月齢の短縮

- ☐ 超音波測定を活用した出荷適期の判断
☐ 定期的な体高や体重等の測定
☐ その他 ()

⑨ 分娩間隔の短縮

- ☐ 発情発見機を活用
☐ 早期離乳の実施
☐ その他 ()

豚

⑩ ☐ ベンチマーキングシステムを活用した生産コストの削減

⑪ ☐ 人工授精を活用した生産コストの削減

⑫ ☐ 優良系統の導入による生産性の向上

⑬ ☐ オールイン・オールアウトによる事故率の低減

採卵鶏・肉用鶏

⑭ ☐ 優良系統の導入による生産性の向上

⑮ ☐ オールイン・オールアウトによる事故率の低減

(Ⅲ. 配合飼料の使用量の低減)

⑩ 国産高栄養粗飼料（青刈りとうもろこし、アルファルファ等）の利用による配合飼料の使用量低減

- ☐ 青刈りとうもろこしの使用量を増やし、配合飼料の使用量を減らす
☐ 国産アルファルファの使用量を増やし、配合飼料の使用量を減らす
☐ その他マメ科牧草の混播草地の利用を増やし、配合飼料の使用量を減らす
☐ その他（ ）

⑰ ☐ 飼料成分分析に基づく飼料設計の改善

⑬ □ エサ寄せロボットの活用

⑬ 自動給餌機の活用

⑳ ☐ 搾乳ロボットの活用（飼料給餌機能付きのものに限る）

②① □ 多回給餌

②② □ リキッドフィーディングの活用

別添様式 2

生産コストの削減及び飼料自給率の向上を図るための取組実績報告

申請日 令和 年 月 日

第 1 取組者の概要

取組者名（法人の場合は法人名を記載）	
代表者の役職・氏名（上記と同様の場合は省略）	
取組者が所在する住所	〒

第2 生産コストの削減及び飼料自給率の向上のための取組 実績報告表

・取組は令和5年度まで継続することとし、本事業で着手した取組について、以下の（Ⅰ．畜種共通）、（Ⅱ．畜種別）の取組項目から1つ、（Ⅲ．配合飼料の使用量の低減）から1つ、計2つ選択し、□にレを記入すること

（Ⅰ．畜種共通）

- ① ☐ 疾病・事故率などの低減
- ② ☐ 暑熱・寒冷対策による生産性の改善
- ③ ☐ 国産飼料（エコフィード含む）の給与割合の増加
- ④ ☐ 副産物収入（堆肥販売、和牛受精卵の活用等）の増加による生産コストの削減

（Ⅱ．畜種別）

〔酪農〕

- ⑤ ☐ 牛群検定を活用した生産性の向上
- ⑥ ☐ 分娩間隔の短縮
- ⑦ ☐ 国産濃厚・粗飼料の生産・流通拡大（コントラクター活用等によるものを含む）

〔肉用牛〕

- ⑧ ☐ 肥育期間や子牛の出荷月齢の短縮
- ⑨ ☐ 分娩間隔の短縮

〔豚〕

- ⑩ ☐ ベンチマーキングシステムを活用した生産コストの削減
- ⑪ ☐ 人工授精を活用した生産コストの削減
- ⑫ ☐ 優良系統の導入による生産性の向上
- ⑬ ☐ オールイン・オールアウトによる事故率の低減

〔採卵鶏・肉用鶏〕

- ⑭ ☐ 優良系統の導入による生産性の向上
- ⑮ ☐ オールイン・オールアウトによる事故率の低減

（Ⅲ．配合飼料の使用量の低減）

- ⑯ ☐ 国産高栄養粗飼料（青刈りとうもろこし、アルファルファ等）の利用による配合飼料の使用量低減
- ⑰ ☐ 飼料成分分析に基づく飼料設計の改善
- ⑱ ☐ エサ寄せロボットの活用
- ⑲ ☐ 自動給餌機の活用
- ⑳ ☐ 搾乳ロボットの活用（飼料給餌機能付きのものに限る）
- ㉑ ☐ 多回給餌
- ㉒ ☐ リキッドフィーディングの活用

第3 取組の実施内容、実施したことを証する資料

[記載例]

取組その1：暑熱・寒冷対策による生産性の改善

取組の内容：牛舎に〇〇を設置することにより暑熱による生産性低下の改善を図るとともに、〇〇を設置することで寒冷による生産性低下の改善を図った。

証する資料：

- ・写真（牛舎内の設備及びその周辺）
- ・設備の納品書、領収書 など

取組その1：

取組の内容：

証する資料：

・

取組その2：

取組の内容：

証する資料：

・